

多自然川づくり取組事例

タイトル：正法寺川流域水管理行動計画について	
水系/河川名：一級河川吉野川水系/正法寺川	河川分類：都市河川
河川の流域面積：8	整備計画流量：m3/s
セグメント：2-2	
事業：その他	事業開始年度 令和2年度
目標設定：定性的	段階：D(実施・施工時)
課題・目的(主な)：水環境改善、その他	
工法(主な)：魚道、落差工、帯工等の整備、その他	
配慮事項(主な)：人材育成	

背景・課題、目標設定

<背景>

徳島県では、流域全体の総合的な水管理を進めるべく、平成29年4月から「徳島県治水及び利水等流域における水管理条例」を施行している。

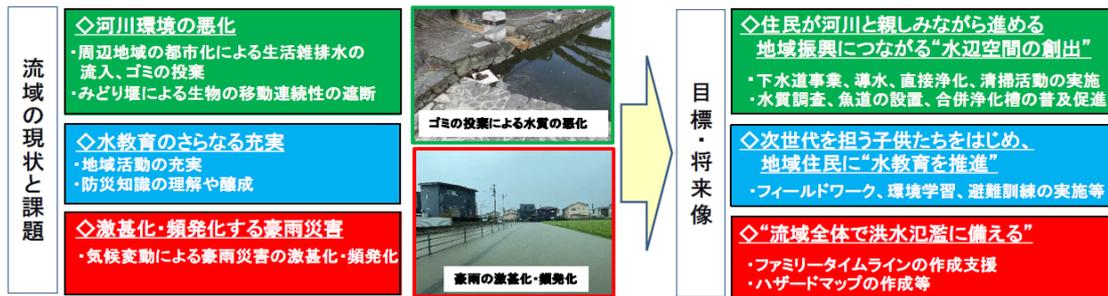
この条例に基づく計画として、流域単位で地域の皆様とともに、幅広く「課題」を拾い出し、水災害への備えや水教育の充実、豊かな水辺空間の創出など、「具体的な取組み」や「各々の役割分担」を明確にする「流域水管理行動計画」を、3か年計画として現在9河川で策定している。

そのうちの一つである正法寺川では、地域住民から水質改善などの要望があり、それを含めた様々な取組を、県・町・地域住民・大学など官民学が連携し推進している。



- 一級河川吉野川水系正法寺川
- 流域面積 A=8.05km²
- 流路延長 L=5.2km

<流域の課題・将来像>



取組内容

<水質の改善> 【町・県の連携】

- ・下水道整備の推進、合併浄化槽の普及促進
- ・直接浄化施設の稼働
- ・旧吉野川からの導水
- ・水質調査の実施

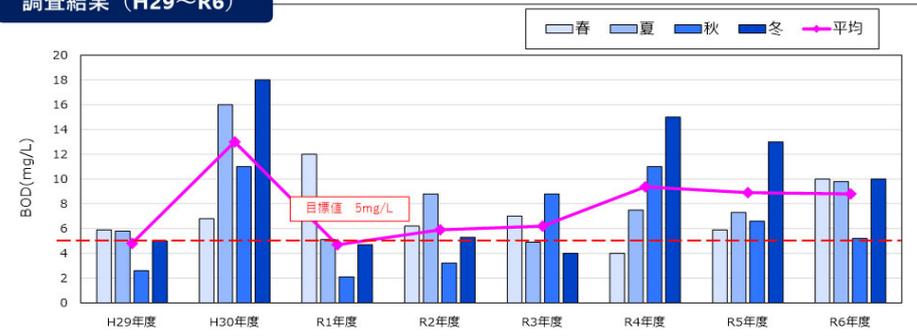


調査概要

- 測定項目：BOD（生物化学的酸素要求量）
- 調査時期：春（4月）夏（7月）秋（10月）冬（1月）
- 水質目標：BOD 5mg/L以下



調査結果 (H29~R6)



アピールポイント

＜学校などにおける「水教育」＞ 【地域住民・町・県が連携】

- ・地元団体「正法寺川を考える会」が主催(年2回)、河川清掃も実施(月1回)
- ・正法寺川に生息する生き物や、堰の仕組みなどについて学習

河川環境学習

- 実施日 : 令和6年7月5日(金)
- 実施場所 : 藍住町立 藍住北小学校
- 対象 : 小学5年生(86名)



学習状況



参加者の声

- ・大きい魚や小さいエビなど沢山の生き物がいて驚いた。
- ・川だけで生活する魚や、海と川を移動する魚がいることがわかった。

＜魚道の設置＞ 【地域住民・大学・県が連携】

- ・魚道の設置は、地元からの強い要望を受けて始まった取組
- ・徳島大学に助言をいただきながら、令和3年、令和5年と仮設魚道を設置して効果を検証
- ・検証の結果、問題なく魚の遡上を確認 → 魚道の本設を決定し、設計を実施

R6

魚道の設計完了

R7

非出水期に向け
発注準備 → 着工

R8

R8にかけて完成予定
→ 調査

備考

問合せ先 徳島県 県土整備部 河川政策課
 電話番号 088-621-2625